



☆優秀作品表彰：長吉長原東高架橋の建設

大阪市建設局

(1) 事業概要

長吉長原東高架橋は、「緊急ボトルネック対策事業」として、慢性的な渋滞を繰り返す長吉長原東交差点の渋滞解消を図るため、大阪中央環状線北行き車線に、新たに整備を行った2車線の高架橋である。

長吉長原東交差点は、大阪中央環状線（1日平均7万台）と住吉八尾線（1日平均4万台）が交差する大阪府第3次渋滞対策プログラムにおける主要渋滞ポイントとして挙げられるほど屈指の渋滞箇所であったが、本高架橋の整備により、顕著な渋滞解消の事業効果が認められたものである。

- ・ 架設箇所 大阪市平野区长吉長原東2丁目
(大阪環状線北行き)
- ・ 工事期間 平成14年12月～平成18年3月
(供用開始平成17年10月)
- ・ 事業費 18億円

(2) 橋梁諸元

- ・ 橋長 323.0m (高架橋延長558m)
- ・ 幅員 全幅員：8.15m
有効幅員：7.26m
- ・ 支間割 46.3+56.0+65.0+61.5+61.0+31.8m
- ・ 設計荷重 B活荷重
- ・ 上部構造形式
構造：鋼6径間連続開断面箱桁橋
床版：合成床版（帯鋼ジベル型）
- ・ 下部構造形式
基礎：鋼管ソイルセメント杭
(径1.2m)
躯体：RC逆T式橋台2基
RC壁式橋脚5基

(3) 構造の主な特徴

- ・ 上部構造は、コスト縮減と工期短縮を図るため、合成床版（帯鋼ジベル型）を持つ開断面箱桁を採用した。また、支承には、地震時水平力分散型ゴム支承を採用し6径間連続とした。
- ・ 下部構造は、基礎形式には、経済性および施工性に比較的優れた鋼管ソイルセメント杭を採用した。

【工事中】



【完成後】

